

製品名: MEK-6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13807**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	37kDa

抗原情報

遺伝子名	MAP2K6 MAP2K6; MEK6; MKK6; PRKMK6; SKK3; Dual specificity mitogen-activated protein kinase
別名	kinase 6; MAP kinase kinase 6; MAPKK 6; MAPK/ERK kinase 6; MEK 6; Stress-activated protein kinase kinase 3; SAPK kinase 3; SAPKK-3; SAPKK3
遺伝子 ID	5608.0
SwissProt ID	P52564
免疫原	抗血清はヒト MAP2K6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1-50

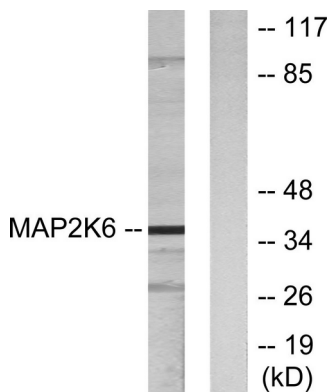
背景

この遺伝子は、二重特異性タンパク質キナーゼファミリーのメンバーをコードし、マイトジェン活性化タンパク質 (MAP) キナーゼキナーゼとして機能します。MAP キナーゼは細胞外シグナル調節キナーゼ (ERK) としても知られ、複数の生化学的シグナルの統合点として機能します。このタンパク質は、炎症性サイトカインまたは環境ストレスに応答して p38 MAP キナーゼをリン酸化して活性化します。p38 MAP キナーゼを介したシグナル伝達経路の必須構成要素として、この遺伝子はストレス誘発性の細胞周期停止、転写活性化、アポトーシスなど、多くの細胞プロセスに関与しています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性:ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。、酵素調節:おそらく Ser-207 と Thr-211 の二重リン酸化によって活性化される。、機能:MAP キナーゼ p38 におけるトレオニンおよびチロシン残基の同時リン酸化を排他的に触媒する。誘導:UV、アニソマイシン、および浸透圧ショックによって強く活性化されるが、ホルボールエステル、NGF または EGF によっては活性化されない。、PTM:Yersinia yopJ による Ser-207 および Thr-211 のアセチル化は、リン酸化および活性化を防止し、MAPK シグナル伝達経路をブロックする。、PTM:弱く自己リン酸化される。、類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。STE Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。MAP キナーゼキナーゼサブファミリー。、類似性:1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、サブユニット:Yersinia yopJ と相互作用する。、組織特異性:アイソフォーム 2 は骨格筋にのみ発現する。一方、アイソフォーム 1 は骨格筋、心臓、そして少量ではあるが肝臓または膵臓にも発現する。、

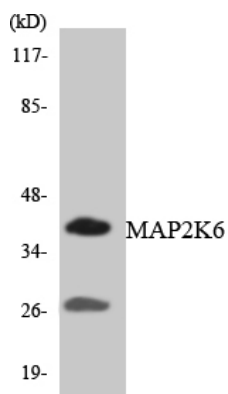
研究分野

血管新生の制御、幹細胞経路、アクチンダイナミクスの制御、Toll 様タンパク質、細胞増殖、MAPK_ERK_Growth、MAPK_G_Protein、B 細胞受容体

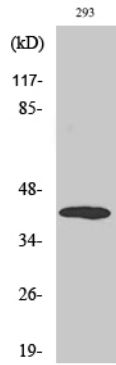
画像データ



MAP2K6 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



MAP2K6 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



MEK-6 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析